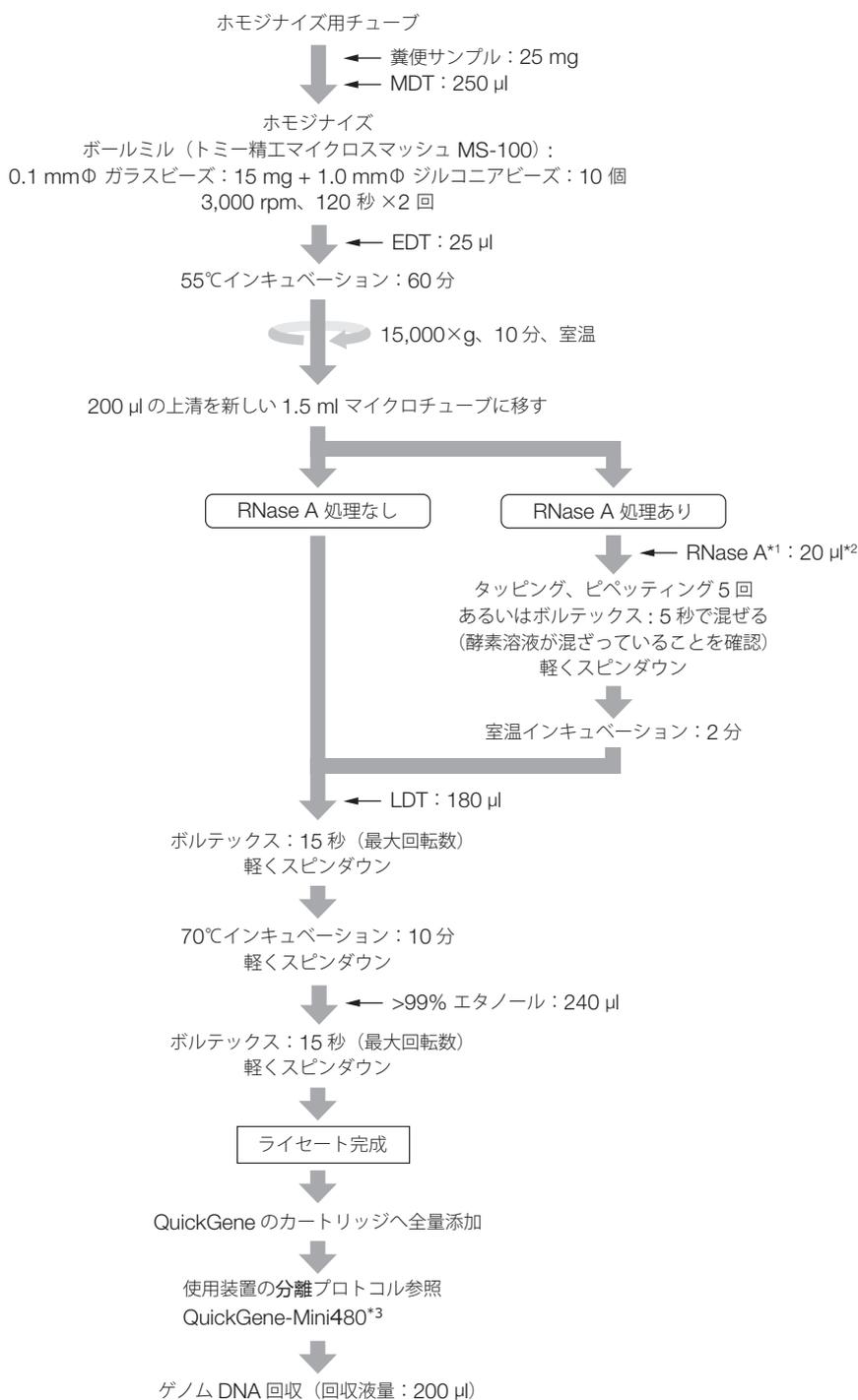


DF-1

糞便からの細菌ゲノムDNA分離

プロトコル



サンプル秤量後



ホモジナイズ後



遠心後

*1 RNase A は、キットに含まれておりません。推奨 RNase（以下を参照）を御用意ください。

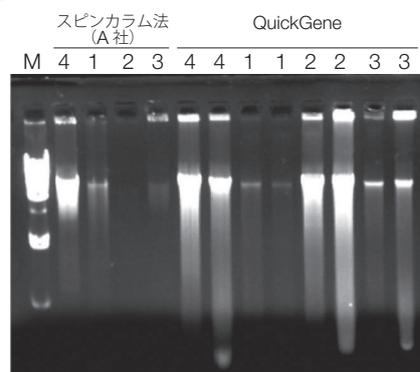
*2 RNase A（invitrogen Cat. No.12091）の場合は 60 µl。

*3 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

糞便サンプル No.1：成人 1 No.2：成人 2
No.3：乳児 1 No.4：ラット 1

電気泳動図



電気泳動条件：0.8% アガロース

M：λ-Hind III
1：No.1 成人 1
2：No.2 成人 2
3：No.3 乳児 1
4：No.4 ラット 1

(+)：RNase 処理あり、(-)：RNase 処理なし
分離したゲノム DNA に分解は認められなかった。

ゲノム DNA の収量

サンプル	No.1	No.2	No.3	No.4
QuickGene	8.4 μg	23.7 μg	15.8 μg	34.4 μg
スピンカラム法 (A社)	2.3 μg	0.6 μg	N.D	6.7 μg

タンパク質の混入：A260/280

サンプル	No.1	No.2	No.3	No.4
QuickGene	2.14	1.92	2.08	2.13
スピンカラム法 (A社)	2.08	1.36	N.D	1.70

カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

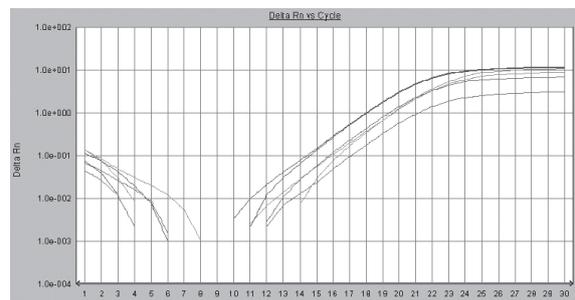
その他

リアルタイム PCR

QuickGene システムおよびスピンカラム法 (A社) を用いて糞便から分離したゲノム DNA で、大腸菌群特異的プライマーを用いてリアルタイム PCR を行った。

テンプレートとして 1 μl の溶出液を使用した (総反応容量 10 μl：デュプリケート)。

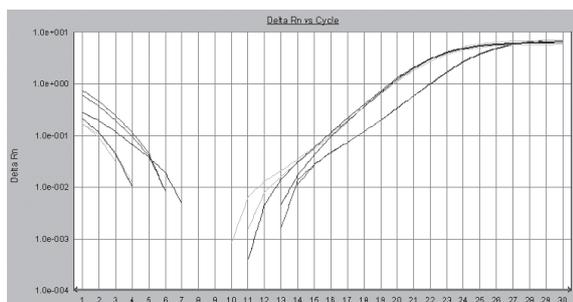
リアルタイム PCR には Applied Biosystem 7300 を使用した。



青：成人 1 (QuickGene-810、RNase 処理あり)
緑：成人 1 (QuickGene-810、RNase 処理なし)
橙：成人 1 (スピンカラム法 (A社)、RNase 処理なし)



黄：成人 2 (QuickGene-810、DNase 処理あり)
青：成人 2 (QuickGene-810、DNase 処理なし)
緑：成人 2 (スピンカラム法 (A社)、RNase 処理なし)



紺：乳児 1 (QuickGene-810、RNase 処理あり)
 青：乳児 1 (QuickGene-810、RNase 処理なし)
 茶：乳児 1 (スピニング法 (A 社)、RNase 処理なし)



緑：ラット 1 (QuickGene-810、RNase 処理あり)
 桃：ラット 1 (QuickGene-810、RNase 処理なし)
 赤：ラット 1 (スピニング法 (A 社)、RNase 処理なし)

いずれのゲノム DNA でも、リアルタイム PCR で発現解析を行うことができた。

その他、乳酸菌 (Lactobacillus) 属特異的プライマーや Clostridium coccoides-Eubacterium rectale グループ 特異的プライマーでも同様に発現解析を行うことができた。

共通プロトコルサンプル

データなし